

沼高図書だより

令和5年1月16日
広島市立沼田高等学校
図書委員会 会

今月の新刊紹介

図書委員の「ブックトーク」

季節外れですが、今回は短編集『クリスマス・ストーリーズ』より、あさのあつこ作「きみに伝えたくて」を紹介しします。ネタバレありの、図書委員のブックトークです。

（あらすじ）つまらない喧嘩別れをした交差点で、彼は事故死する。自分は幸せになっ
てはいけない、そう思い続け
た主人公のもとに、昔アプロ
チを掛けてくれた男性が現れ

る。心を揺らす彼女は、もう
いないはずの彼の幻覚を見る
ようになる…。
N 読んでどう思った？
U クリスマスの幸せなカッ
プルの話じゃなく、同棲や結



このコーナーでは、先生方にとって
思い入れのある一冊を紹介してい
きます。今回は理科の1ノ間先生にお
話を伺いました。

先生の思い出に残っている一冊は何
ですか。

霜島ケイさんの「カラクリ荘の偉人
たち」です。図書館に通うのが趣味だっ
たんですが、イラスト担当のミギーさ
んという方の描いた背表紙を見て、手

に取ったのが最初でした。一目惚れで
す（笑）。結構古い作品なのですが、
私が高校二年生の時に出会った思い出
深い本です。

—どんな内容なの
ですか。

人間不信で人と
触れ合うことが苦手な主人公が、妖怪
やそれに関わる人間たちと触れあう
うちに、人間性を取り戻していくとい
う内容です。主人公の心の氷が溶けてい

本棚の宝物

く過程や成長にとってもほのほのするし、
素敵だなと思えました。
—沼高生に向けて、この本の魅力を語
ってください。

コミカルなシー
ンがある一方、し
んみりしたり感動

するシーンもあるので、色々な気分を
味わえるところが一番の魅力です。登
場人物が妖怪なので、ファンタジー好
きな人や、王道の成長物語が好きな人



におすすりめです。異世界に触れながら
ぜひ、自分自身の成長のきっかけにし
てみてください。



から色々学べる本だと思うよ。

だから私はこの本が好き

図書委員の
ブックレビュー

生まれつき強度の弱視で、幼い頃にはほぼ全盲になった白鳥
建二さん。ある友人の一言で、この「全盲の美術鑑賞者」と
アートを見に行くことになった筆者は、今までは違った美
術鑑賞を体験することになる。展示作品を「目の見える自分
と友人」が細かく鑑賞し、「目の見えない白鳥さん」に言葉
で説明するものの、同じ作品から受ける印象は友人と違った。
さらに、自分が感じたままに見て説明しようとするので、
今まで見えていなかったことに気づくようになる…。
アートならではの自由さを最大限に活かし、正解のないま
まに共感する楽しさを感じることができ、新しいノンフィ
クション作品。自分



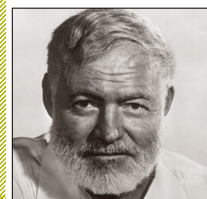
（レビュー）片山 美優

名作文学館

「けれど、人間は負けるように造られてはいな
いんだ」とかれは声に出していった。「そりゃ、
人間は殺されるかもしれない、けれど負けはし
ないんだぞ」
—ヘミングウェイ『老人と海』より—

キューバの老漁夫サンチャゴは、長い不漁にもめげず、
小舟に乗りたった一人で出漁する。餌も残りわずかになっ
たとき、想像を絶する巨大なカジキマグロがかかった。
四日間わたる死闘の後、老人は見事に勝利するが、帰
途サメに襲われ、舟にくくりつけられた獲物はみるみる
食いちぎられてゆく…。

大魚を相手に雄々しく闘う老人の姿を
通して、自然の厳粛さと人間の勇気を描
いた作品。ワールドおやじのカッコよさ
をご堪能ください。



ほととぎす

2022年の年間ベストセ
ラーは、精神科医の和田秀樹
さんが書いた『80歳の壁』。
長生きするよりも元気でいる
ことを提案し、シニア読者の
ニーズに応えた内容になって
います。12月の時点で、約58
万部。



単行本フィクションに限る
と、以前図書便りでも紹介し
た逢坂冬馬さんのデビュー作
『同志少女よ、敵を撃て』
が第1位になりました。図書
室にもありますよ。